

第3学年 英語科学習指導案

日時：2005年10月12日(水)第2校時
 学年：3学年(男子18名、女子4名 計22名)
 指導者：遠野市立附馬牛中学校教諭 高橋成周

1. 単元名：Reading Plus A Mother's Lullaby (東京書籍 New Horizon English Course Book 3)

2. 単元について

(1) 英語教育の時代要請について

英語の指導では、英語を理解し英語で表現する力を養い、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲や態度を育てることが大切である。そして、国際化や情報化の進展に伴い、コミュニケーションや情報獲得・伝達のために、英語の意味内容を即時に正しく理解したり、意思や情報を積極的に獲得・伝達する能力が今まで以上に要求されるようになってきている。

(2) 教材について

本単元は、児童文学作家である大野允子さんが広島原爆について描いた絵本『かあさんのうた』を英訳したものである。原爆の悲惨さや残酷さについては、早瀬町に在住する伊藤宣夫さんの講演を拝聴してきており、その中で、実際に原爆投下の場所にいらした当時の様子を話していただき、恐ろしさや悲惨さを感じ取ったようである。また、戦後60年を迎え、NHKなどの番組を観た生徒も半数以上いる。しかし、戦争を経験したことのない生徒たちにとって原爆の恐ろしさは容易には想像できないであろう。そこで本単元を通して、読み物教材の理解と音読・朗読の学習指導を通し、「読むこと」のねらいを達成させるとともに、戦争の悲惨な情景や臨場感等を「読むこと」の言語活動を通して聞き手によく伝えることができるような表現力をも養っていききたい。

(3) 生徒について

普通の授業では、挨拶や一斉指導での音読は、大きな声を出し明るい雰囲気の中で学習活動を行っている。男女数に偏りはあるが、お互いに分け隔てなく活動している。「聞くこと」についてはリスニングテストでは好成績を収めている。「書くこと」に関しては、実力テストや学習定着度状況調査などのテスト結果から苦手としていることが明確である。その対策として毎時間、導入時に教科書本文の基本本文を書く小テストを取り入れている。毎時間取り組むことで、家庭での学習も継続した取り組みになってきている。「読むこと」の指導では、種々の学習形態や指導方法による音読練習を取り入れながら、英語を読む力を高めるよう心がけ、比較的多くの時間をかけている。しかし、英語を読んであらずじや大切な部分を正しく読み取ったりする力や登場人物の発話の意図や書き手の意向を考えながら音読したり朗読する力が十分育っていない状況がある。また、上位生徒であっても、理解力や表現力が共に高い反面、既習の表現や単語の定着が不十分であるため、会話の意図や内容を考えながら読み取ったり書くことを苦手としている生徒もいる。

(4) 指導観について

この単元では戦争をテーマにしており、その中で広島原爆が題材として取り上げられている。この物語は広島市近郊に立つ一本の木による回想の形をとっている。原爆が落とされ、樹の下で母を求めて泣き叫ぶ幼い男の子に子守歌を歌ってあげた少女の物語である。原爆とはどういうものなのか、どんな被害があったなどについて適時に考えさせながら「読むこと」に関する指導をしていきたい。それを通して、戦争の起こす惨劇と悲しみを読み取り、場面の变化や情景、登場人物の心情等を表し、臨場感が感じられるような音読・朗読にかかわる指導を試みていきたい。

3. 単元全体の指導にかかる評価規準

(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

場面の变化や情景、登場人物の心情をあらわすことができるよう積極的に音読や朗読をすることができる。

(2) 表現の能力

場面の变化や、登場人物の心情をあらわすために、標準的な発音・強弱・区切り・抑揚などに気を付けながら、音読や朗読をすることができる。

(3) 理解の能力

物語のあらすじや大切な部分、登場人物の心情等について読み取ることができる。

(4) 言語や文化についての知識・理解

- ・広島原爆について物語を通して歴史的事実を知り、戦争と平和について考えることができる。
- ・場面の变化や登場人物の心情などをあらわすことができるようにするため、音読や朗読における表現上の留意点や工夫について理解することができる。

4. 各時間の評価規準(9時間扱い)

時間	主な学習内容 (指導内容)	評価規準(評価方法)			
		コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
1	全文を聞き取り、 物語の概要を把握する (1時間扱い)			物語を通読し、あらすじ(概要)を理解することができる 〔観察・シート〕	広島原爆をめぐる客観的事実を理解することができる 〔観察・発言・シート〕

2 3	P 36の内容を理解し、音読・朗読する (2時間扱い)	場面の变化や情景、登場人物の心情をあらわすことができるよう積極的・意欲的に音読や朗読をすることができる	登場人物の気持ちになって発音や抑揚等に気を付けて音読・朗読することができる〔観察・発表〕	物語を読み、場面の变化や登場人物の心情を読み取ることができる〔観察・シート〕	
4 5	P 37の内容を理解し、音読・朗読する (2時間扱い)	場面の变化や情景、登場人物の心情をあらわすことができるよう積極的・意欲的に音読や朗読をすることができる	登場人物の気持ちになって発音や抑揚等に気を付けて音読・朗読することができる〔観察・発表〕	物語を読み、場面の变化や登場人物の心情を読み取ることができる〔観察・シート〕	
6	P 38の内容を理解し、音読する	場面の变化や情景、登場人物の心情をあらわすことができるよう積極的・意欲的に音読することができる	登場人物の気持ちになって発音や抑揚等に気を付けて音読・朗読することができる〔観察・発表〕	物語を読み、場面の变化や登場人物の心情を読み取ることができる〔観察・シート〕	
7	P 38の内容を理解し、朗読する 朗読発表 【本時】	場面の变化や情景、登場人物の心情をあらわすことができるよう積極的・意欲的に朗読することができる	登場人物の気持ちになって発音や抑揚等に気を付けて朗読することができる〔観察・発表〕		情景や登場人物の気持ちや伝わるように発音、区切り、抑揚等の留意点を理解することができる〔観察・発言〕
8	P 39の内容を理解し音読・朗読する (1時間扱い)	場面の变化や情景、登場人物の心情をあらわすことができるよう積極的・意欲的に音読や朗読をすることができる	登場人物の気持ちになって発音や抑揚等に気を付けて音読・朗読することができる〔観察・発表〕	物語を読み、場面の变化や登場人物の心情を読みとることができる〔観察・シート〕	情景や登場人物の気持ちや伝わるように発音、区切り、抑揚等の留意点を理解することができる〔観察・発言〕
9	まとめ(単元テスト)				

5. 本時の指導

(1) 授業の構想

英語学習のねらいが意思や情報の獲得・伝達にあるということを考えれば、文字英語で書かれている意味内容を正しく理解することが大切である。そして、意味内容を正しく把握した上での朗読でなければならない。そこで、最初に本文を通読させ、物語の概要を想起させたい。また、DVDを活用し、臨場感溢れる映像を視聴させることによって、さらに、原爆投下後の静寂な場面やその中での登場人物の気持ちや意図を考えさせ、十分な本文の内容把握にかかわる学習活動を大切にしたい。

朗読では、静まりかえった戦禍の跡の情景やかすかに聞こえる子守歌の音、登場人物間でかわされる優しく温かな対話の内容を表現できるようにするために、強勢やイントネーション、区切りなどの音声に関する言語材料に注目させ、グループやペアで朗読の工夫をさせながら学習に取り組ませたい。

支援が必要な生徒には、特に、発音に気を付けさせながら朗読できるよう、机間指導の中で、一人ひとりの学習状況に応じ、進歩感や成就感を得るための評価や指示、模範提示などの手立てにより、確かな学力を身に付けさせたい。

発表は黒板前でさせ、内容を伝えられるような朗読になるよう指導していき、適切な評価言により発表に対するプラス評価を与え、今後の学習意欲を促したい。

(2) 本時のねらい

場面の变化や情景、登場人物の心情をあらわすことができるよう積極的・意欲的に朗読をすることができる。

登場人物の気持ちになって発音や抑揚等に気を付けて朗読することができる。

情景や登場人物の気持ちや伝わるように発音、区切り、抑揚等の留意点を理解することができる。

(3) 本時の展開

過程	学習活動	生徒の活動	教師の指導・援助・留意事項	教具等	具体的評価規準 方法
導入 7分	1、Greeting 2、前時までの内容確認 3、課題設定	1 英語で挨拶をする曜日、日付、天気を答える。 2 DVDを観ながら前時までの学習を振り返り、物語の概要を確認する。 3 教師の話聞き課題を把握する。	1 曜日、日付、天気を尋ねる。 2 前時までの学習活動を振り返りながら課題を把握させる。	教科書 準拠のDVD	
P 38を登場人物の気持ちが表れるように朗読しよう。					
展開 33分	4、モデルリディングを聴く 5、本文の場面、心情の把握 6、本文の朗読練習 (1)単語の発音練習の確認 (2)ALTによる本文英語の模範読の視聴 (3)本文の朗読練習 7、発表	4 教師のモデルリディングを聴く。 5 P38の場面や登場人物の心情について深く読み取る。 6 -(1)場面や気持ちを注意して朗読する英文や単語を話し合う。 6 -(2)ALTによる本文英語の模範読視聴。 6-(3)班毎に場面や登場人物の心情を考えながら朗読練習を行う。 7 班毎に P38 の朗読を発表する。	4 読み手を誘導する機能を持つ英語(主題)の紙板書を貼りながら英語を聴かせる。 5-1 本文の場面・心情に関わる内容について日本語によるQ and Aを行う(教科書・開本) 5-2 weak や cried、セリフなどの中核的な意味をとらえさせることによって場面や登場人物の心情を理解させたい。 6-1 朗読の際特に気を付けて読む英文や単語を3つ答えさせる。 6-3 発音・区切り・抑揚等を意識して心情や情景を表現しながら朗読するように指示する。 7 班毎に指名し、発表させる。相互評価活動を通し、各班の発表を自己評価させる。	紙板書 紙板書 ワークシート ALT 朗読によるビデオ	6・7 観察・発表 A 本文中の cried や weak などの意味を理解し、場面の情景や登場人物の気持ちを表すために、適切な発音、区切り、抑揚等を十分に留意し、朗読をすることができる。 B 登場人物の気持ちをくみ取り、発音・区切り・抑揚などを意識しながら本文を朗読することができる。 C 机間巡視し、音読につまずいている生徒を個別に指導する。
終末 10分	8、本時の自己評価 9、次時の予告と挨拶	8 学習(朗読)を振り返り、成果と課題を確認する。 9 課題と次の授業の確認をする。		評価カード	

(4) 板書計画

A Mother's Lullaby	Wednesday, October 12
Today's point	
P38を登場人物の気持ちが表れるように朗読しよう	
Night came. Some people ~. I heard ~. It was ~. A young girl ~. "Mommy ! Mommy ! " the boy cried. the girl said. "Don't cry " "Mommy is here "	Then she ~. She was ~. but she tried ~ She held him ~.

(5) 座席表

教 卓

English for Fun

Reading Plus A Mother's Lullaby (P38)

Today's Point P 3 8 を登場人物の気持ちが表れるように朗読しよう。

朗読するときに強く発音する、抑揚に気を付ける、登場人物になりきる等、大事な英文や英単語に線を引いてください。

Night came.

Some people were already dead.

I heard a weak voice.

It was a lullaby.

A young girl was singing to a little boy.

"Mommy ! Mommy !" the boy cried.

"Don't cry," the girl said. "Mommy is here."

Then she began to sing again.

She was very weak, but she tried to be a mother to the poor little boy.

She held the boy more tightly and began to sing again.

(訳)

夜になった。すでに死んでしまっていた人々もいた。私はかすかな声を聞いた。それは子守歌だった。若い女の子が小さな男の子に歌っていた。「お母ちゃん！お母ちゃん！」男の子は泣いて言った。「泣かないで」女の子は言った、「お母ちゃんはここですよ」と。そしてまた歌い始めた。

女の子はとても弱っていた、しかし小さな男の子のお母さんになろうと努力していた。女の子はまるで本当の母親のように、男の子をさらにしっかりと抱きしめた。

